



涙の発表会～10年の節目に寄せて～

涙、涙の学習発表会でした。

たった45分の学びのひと時。

一つの教室の中でこれほどの感動の涙が流れたことは、今までの教師人生の中でも初めてのことだったと思います。

第3クォーターでは、物語探究プロジェクトということで、「命」をテーマに学びを積み重ねてきました。

一つの花やごんぎつねなど、4年生の国語の教科書には命をテーマにした物語が多数収録されています。

その学びを深化させるべく、吉賀先生に読み聞かせをしていただいたり、戦争や災害を切り口として作文を書いたり、様々な学びを積み重ねてきた上で昨日の発表会を迎えました。

10年。

言葉にすればたった一言ですが、その間にはきっと語りつくせぬほどのたくさんの物語があったはずです。

人生のこの大切な節目に、命というテーマと切っても切れない「親」にフォーカスをして、昨日は前段の授業を組み立てました。

いわば、あの場面は前座だったわけですね。

実際に主役が登場した後半からは、感動の嵐が教室を包み込みました。

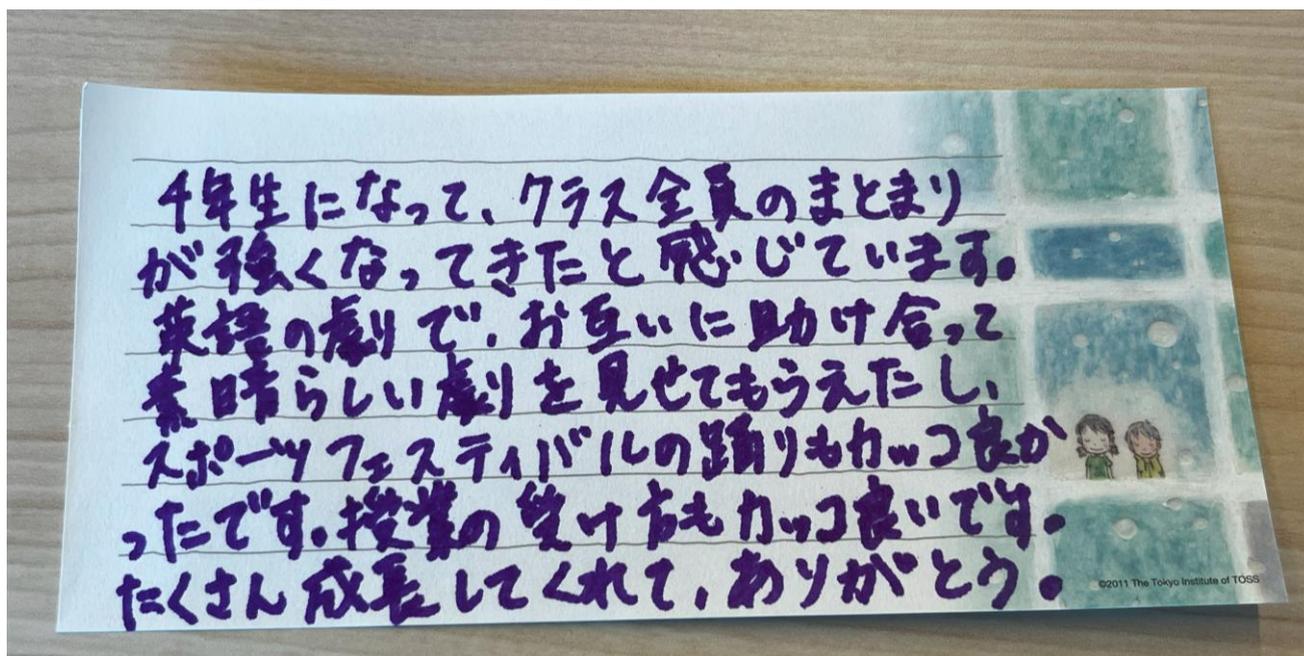
私も前座なりに心を込めて授業をしたわけですが、やっぱりそれ以上に子どもたちの姿が最高に素晴らしかったです。

一所懸命言葉を紡ぐ姿、何度も懸命にチャレンジしようとする熱意、お互

いに応援し合う雰囲気、思い出だけでまた胸が熱くなります。
授業後、お家の方々からもたくさんのお便りをいただきました。



いくつか、紹介させていただきます。





お葬式と結婚式くらいしか。
“あつため2 こういう気持ち伝える”
機会もなかなかないので。今回のこの企画。
ありがとうございます。

子供たちが。泣きながら顔を見合わせ
笑っちゃっている所など。最高でした。

感動しました。

子供達が“感じ”ていること、心(気持ち)の
変化、反らうの想いに共感している姿。

毎日が“忙しく過ぎ”ていることと言いつい
ていましてが、もっとたくさん言葉をかわして
いきたいです。



教室の中にいた全ての人の心の琴線に
触れるすばらしい授業でした。普段は何気なく
“いること”、“あること”が当たり前のことの複雑さを
改めて感じさせられました。ありがとうございます。

四年生のみんなへ

とてもじのこもったお手紙ばかり
でした。みんなが愛情たっぷり
書いてもらった事がよく伝わって
きましたよ。

先生方へ

素敵なクラスですね。

先生方の、子供達への温かさが、
そのままクラスの雰囲気になっ
ているのでしょうね。
ありがとうございます。



お家の方々のこうした言葉が、子どもたちの学びを支えつづけてくれていることは間違いありません。本当に、いつもありがとうございます。

さて、明日からは冬休み。

2023 年もあっという間に過ぎました。

書き続けてきた Venture Fourth にお付き合いいただき、たくさんの感想の便りを寄せてもらえたこともとても嬉しかったです。

今年は 154 号でいったん区切りとして、また新年を迎えてから新たな歩みを始めたいと思います。

新学期、元気なみんなに会えるのを楽しみにしています。

みなさん、どうぞよいお年をお迎えください。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

